

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松山市立姫山小学校（愛媛県）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる、クラウドを活用した家庭学習の充実」



ツール

クラウドサービス

- クラウドサービスを活用して、次時の問題を児童が宿題で提出する。
- 教師が事前に解答を確認し、実態把握をしておく。
- 多様な意見を交流する際には、考え方が分かる写真を送り合って確認する。



成果○・課題△・活用のポイント◇

- 個人での課題解決を家庭で行うことで、苦手意識のある児童はじっくりと時間をかけて解いたり、授業内では対話的な活動の時間の確保ができたりと、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」につながった。
- △ 授業準備や、児童の回答把握に一定の時間を要する。